

大学名 広島大学

第63号 特集テーマ「学生支援」
特集タイトル「みんなで支えるキャンパスライフ」

表題 「コロナ禍でも一人悩まないで」大学院生が親身にアドバイス
～学生・留学生同士が支え合う教育・学習支援が根付く～

広島大学は、学生自らが大学環境づくりを積極的に支援することを目的として、コロナ禍の2020年4月に「教育学習支援センター」を設置した。

同センターでは、大学院生(学生スタッフ)12人が、新入生や在学生の学習相談に応じている。

具体的には、教養教育(英語・物理・化学・数学)に関する学習についての相談に加え、授業の単位や履修方法、レポートの書き方、予習や復習の取り組み方など、日ごろの学修で困っている悩みに幅広く対応。メールやZoomを活用したオンラインでの相談、英語や中国語でのアドバイスも行い、これまで135人の学生が利用。新入生に加え外国人留学生にも好評だ。

コロナ禍でも欠かせないのが対面でのコミュニケーション。

感染症対策を講じた上で、新入生を対象に学部や研究科を超えた交流の機会が持てるように、懇話会を定期的で開催している(2020年度全3回、2021年度全3回開催)。参加した学生からは、「懇話会をきっかけに連絡先の交換を行い、関係の輪を広げるいい機会になった」、「普段話さない同じ学部や学科の友人ができた」「一人暮らしの悩みを気軽に話せて良かった」と言った声が寄せられた。



教育学習支援センターの学生スタッフが日頃の悩みに応じる

このほか、同センターで開催したイベントの様子や、面白かった授業、おススメの本等、学生スタッフが同じ学生に対して伝えたい内容を記事にした「教育学習支援センターNews Letter」を定期的に発信。(2020年12月の創刊号を皮切りに現在まで4号分を定期発行)

ポストコロナを見据え、同センターでは今後も学生スタッフが主体となり、学生同士が互いに支え合う教育・学習支援の取り組みを促進していく。

(教育学習支援センターHP: <https://www.hiroshima-u.ac.jp/capr>)



学生スタッフ自らが企画運営する懇話会イベントの様子(2021年12月)